

2009

SENDAI VISITORS
INDUSTRY NETWORK

ビジターズ産業 フォーラム

ゼップ仙台
in Zepp Sendai

音楽の都 楽都仙台へ向けて

1 パネルディスカッション 15:00~16:30

「音楽の都 楽都仙台へ向けて」

「音楽の都 楽都仙台へ向けて」をテーマに仙台のミュージックシーンをリードするパネリストたちが楽都仙台の今後などについて熱く語り合います。

パネリスト	■ 佐藤 寿彦	仙台ビジターズ産業ネットワーク副委員長 [株式会社GIP社長]
	■ 坂本 サトル	[ミュージシャン]
	■ 佐々木 和夫	[定禅寺ストリートジャズ フェスティバル実行委員長]
	■ 熊谷 達也	[作家]
	■ 志賀野 桂一	[東北文化学園大学教授 東北大学特任教授]
コーディネーター	■ 宮原 育子	仙台ビジターズ産業ネットワーク委員長 [宮城大学事業構想学部教授]

2 認定事業報告 16:30~17:30

仙台ビジターズ産業ネットワークから「仙台への来訪者を増やす事業」として認定された事業について、事業者たちが映像を交えて発表を行います。

- 1 仙台・宮城DCと仙台ビジターズ産業ネットワーク【(株)ゆいネット】
- 2 ペット連れマップ【動物専門学校生・(株)リヴシー】
- 3 S1サーバードランプリ【NPO法人繁盛店への道・大会出場者】

3 交流会 (参加料2,000円) 17:30~18:30

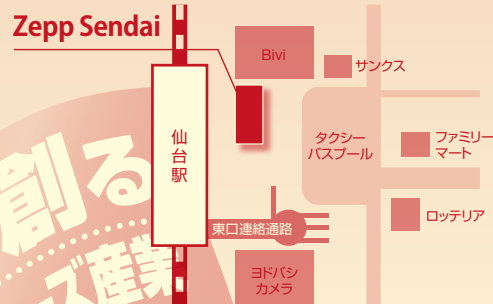
パネリストを交え、参加者の皆さんに交流を深めていただくための軽食、ソフトドリンク中心の会合です。お気軽にご参加ください。

皆さん一緒に楽都仙台を考えませんか?

日程 平成21年 **3月17日** 火
時間 / 15:00~18:30

場所 **Zepp Sendai** (ゼップ仙台)
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡一丁目1-1
TEL022-257-7975

定員 先着
200名



市民が創る
仙台のビジターズ産業

主催 / 仙台ビジターズ産業ネットワーク
<http://www.stcb.or.jp/vi/>
(財)仙台観光コンベンション協会
<http://www.stcb.or.jp/>

後援 / 仙台市 仙台商工会議所 (財)仙台市産業振興事業団
宮城県 宮城大学地域連携センター 河北新報社

■FAX送付先:022-268-6252 仙台観光コンベンション協会 小山 あて

第5回 仙台ビジターズ産業 ネットワークフォーラム 参加申込書	フリガナ: 氏名	住所 〒	
	電話	Eメールアドレス	交流会 参加料2000円
	所属団体(役職)	業種・業務内容	参加 不参加

提供いただいた個人情報はフォーラム関係連絡及び仙台ビジターズ産業ネットワーク(<http://www.stcb.or.jp/vi/>)関連の各種情報提供のみに使用いたします。

お申し込み方法 [締切:3月6日(金)]

参加ご希望の方は、必要事項を記入してこのチラシをそのままFAXいただくか、右記メールに必要事項を明記してお申込みください。
定員(200名)になり次第締め切らせていただきますのであらかじめご了承ください。交流会は、参加者による軽食、ソフトドリンク中心の会合です。お気軽にご参加ください。(参加料2,000円)

お申し込み宛先

FAX.022-268-6252
TEL.022-268-6296
E-mail. koyama-hiroyuki@stcb.or.jp



SENDAI VISITORS
INDUSTRY NETWORK

VISITORS INDUSTRY FORUM

2009

ビジターズ産業 フォーラム in Zepp Sendai

ゼップ仙台

市民が創る
仙台のビジターズ産業



音楽の都 楽都仙台へ向けて

「将来の楽都仙台イメージ例」

「世界の楽都・杜の都仙台」では、週末はもちろん、随時、クラシック、ジャズ、フォークなどのコンサートやオペラ、演劇、映画などのイベントが開催されており、市民や学生、恋人たち、ビジターなどが気軽に立ち寄ります。また、国内外のビッグアーティストの公演は必ず楽都仙台でも開催されます。こうして、仙台の街中に芸術・文化にあふれたテーマパーク都市が出現し、世界と交流し、他都市に例をみない新しい都市の個性が創出されます。

(「楽都」を活用した「杜の都」の再構築の提案～「楽都仙台」を活用した集客交流の促進～
2008年3月仙台ビジターズ産業ネットワークコアメンバー会議策定から抜粋)

出演者プロフィール

パネリスト



さとう としひこ
佐藤 寿彦

〔株ジー・アイ・ピー社長〕

仙台ビジターズ産業ネットワーク副委員長

仙台市生まれ。1981年(有)ルーバン音楽出版を設立(東京)(※現ジー・アイ・ピー)し、現在に至るまで東北6県エリアでのコンサート、各種イベントの企画制作などを幅広く手がける。1986年「仙台光のページェント」開始に際しては発起人として企画運営実施に携わる。1988年(社)全国コンサートツアー事業者協会設立に発起人として携わり同協会理事に就任。2001年から東北最大級のロックフェスティバル「荒吐ロックフェスティバル」を企画・開催している。

パネリスト



さかもと
坂本 サトル

〔ミュージシャン〕

1967年青森県南部町生まれ。1986年、東北大学経済学部進学のため仙台へ。1992年にメジャーデビュー。1999年「坂本サトル」としてソロ活動開始。同年発表した『天使達の歌』が大ヒット。2009年2月までにオリジナルアルバム4枚、シングル10枚、ライブアルバム6枚をリリース。弾き語りやバンド等、様々な形態での全国ツアーを定期的に行っている。また、作詞家、作曲家としても活動中。ラジオ番組のDJを務める他、CMやTV番組のナレーション等その活動は多岐にわたる。

パネリスト



ささき かずお
佐々木 和夫

〔定禅寺ストリートジャズ
フェスティバル実行委員長〕

1947年仙台市生まれ。定禅寺ストリートジャズフェスティバルとの出会いは14年前。「家族と買い物にきたらやっ

て、街中でこんなことができるんだと、ある種の驚きを覚え、次第にどんな人たちがやっているかに興味を持つようになったんです」と語る。翌年から実行委員として参画し、4年前に実行委員長に就任。

パネリスト



くまがい たつや
熊谷 達也

〔作家〕

1958年仙台市生まれ。東京電機大学理工学部卒。教員、保険代理店業を経て、1997年『ウエンカムイの爪』で小説すばる新人賞を受賞し、作家デビュー。2000年『漂泊の牙』で新田次郎文学賞、2004年『邂逅の森』で直木賞と山本周五郎賞をダブル受賞。ほかに『山背郷』『相剋の森』『氷結の森』『群青に沈めー僕たちの特攻ー』など。最新刊は終戦直後の仙台を描いた『いつかX橋で』。自身もバンドを組んで仙台市内のライブハウスなどでライブを行っている。

パネリスト



しがの けいいち
志賀野 桂一

〔東北文化学園大学教授・東北大学特任教授〕

仙台市生まれ、仙台市役所で長年にわたり文化政策・文化スポーツ事業に携わる。中でも「アジア音楽祭」、「仙台国際音楽コンクール」、「仙台クラシックフェスティバル(通称せんくら)」等の「楽都仙台」の中心的役割を果たす。劇都事業では10-BOXの

整備、官民一体で計画を進めているロングラン劇場のプロジェクトメンバー。現在は、市役所退職後、大学でアートマネジメントの特別講座を行うほか、昨年秋に開館した東北大学の川内萩ホール企画・運営に携わっている。DCキャンペーン最終日、仙台初の大晦日のカウントダウンコンサートを企画し成功させた。

コーディネーター



みやはら いくこ
宮原 育子

〔宮城大学事業構想学部教授〕

仙台ビジターズ産業ネットワーク委員長

東京都生まれ。昭和50年から11年間旅行会社旅行勤務を経て、大学で地理学を学ぶ。平成9年、宮城大学事業構想学部に着任。現在は地域資源論、地域交流事業を担当し、学生たちと東北をフィールドとして地域の資源を活かしたまちづくりや観光振興のあり方を中心に研究している。仙台ビジターズ産業ネットワークコアメンバー会議委員長、河北新報社「仙山カレッジ」座長、みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会顧問、山形県総合政策審議会委員、国土交通省東北運輸局東北観光まちづくりアドバイザー会議座長、農水省農村景観応援団委員など。